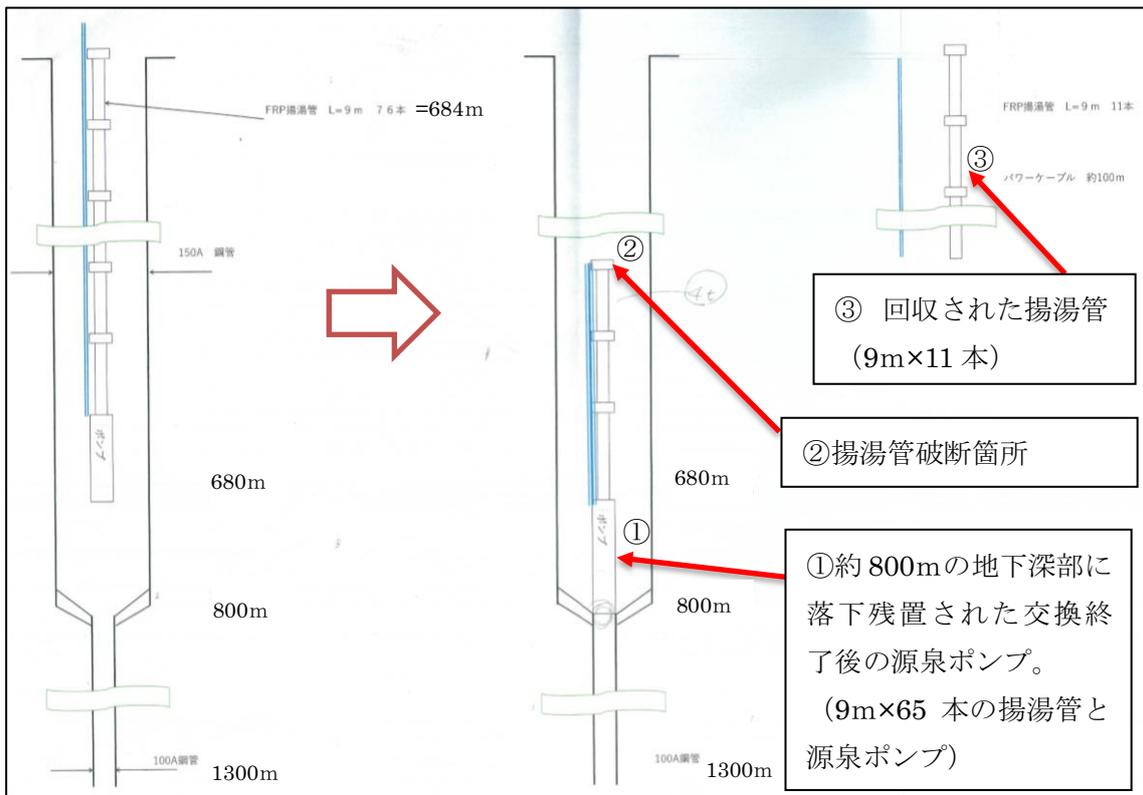


令和元年度 黄金の湯 源泉井戸揚湯ポンプ交換工事における
ポンプ落下事故及び今後の対応について

工事名 : 令和元年度 黄金の湯 源泉井戸揚湯ポンプ交換工事
 履行期間 : 令和2年1月27日～令和2年2月7日
 履行場所 : 飯田市南信濃和田 2509 番地 3
 契約先 : 小楡探鉱鑿泉株式会社

1 源泉ポンプ落下事故直後の源泉井戸の状況 (R2.1.30)



2 源泉ポンプ落下事故経過

年月日	内容
令和2年1月30日 (木)	1月28日に工事着手。ファイバーグラス揚湯管9m×全76本引揚後、揚湯ポンプの交換及び配線・配管接続を行い降管(揚湯管684m)
	10:30～試運転調整(ドレン排湯)開始
	12:15～揚湯停止(「漏電」表示)、パワーケーブルが井戸内へ引き込まれを確認 ⇒ポンプ落下と推定
	12:30～揚湯管回収作業開始 9m×11本回収、11本目下端にて下位揚湯管脱落を確認。パワーケーブル・水位センサーケーブル・薬剤注入管の破断を確認
	観光課遠山郷観光振興係へ報告あり

<p>令和2年1月31日 (金)</p> <p style="text-align: center;">～</p> <p>令和2年2月14日 (金)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水中テレビカメラ調査による孔内状況の確認。 ・落下残置された揚湯管及び源泉ポンプの引き揚げ作業を実施。 (原因はFRP揚湯管の接続部分にあるソケットの破損と推測) ・2/5までに復旧の目途が立てば工期内で対応できると判断し作業を継続したが揚湯管及び源泉ポンプの引き揚げについて目途がたたない状況。 ・2/7までの予定の工期を延長するとともにかぐらの湯の休業期間延長について各機関へ周知。 ・落下残置された揚湯管65本のうち、1本のみ破断により回収。引き続き揚湯管と源泉ポンプの回収作業を実施。
<p>令和2年2月26日 (水)</p>	<p>源泉ポンプ事故対策会議</p> <p>小楯探鉱鑿泉株式会社(代表取締役社長)からの経過報告及び説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状で出来る限りの手を尽くしたが、揚湯ポンプの回収に至っていない。 ・落下事故の原因は、揚湯管の品質不良あるいは強度不足が主因と判断している。(メーカーの見解を求めたい。) ・今後の対応策については、様々な方法論が存在するが、大別すれば①回収の継続と②代替井設置の2つになる。いずれにしても既設機器を一時撤去し、櫓を組むなど大規模な工法になる。 ・想定所要期間 ①4ヶ月～1年3ヶ月 ②2年2ヶ月(掘削申請等手続き含む)

3 今後の対応について

(1) 源泉ポンプの復旧について

飯田市としては、当該工事にかかる建設工事請負契約書に基づき、受注者(小楯探鉱鑿泉株式会社)に対して、源泉におけるポンプの復旧を求めてくとともに、源泉を利用していた施設における損害への賠償等についても受注者と協議を進める。

(2) かぐらの湯の営業について

源泉におけるポンプ復旧までの間、沸かし湯による運営を行う方向で進めるとともに、令和2年度の遠山郷への観光誘客について、地域の関係団体と一緒に取り組んでいけるよう多様な支援について検討を進める。